

授業科目

心理測定法

担当教員名 原口 彩子	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

授業の概要

基本的な心理アセスメントに関する知識を獲得するため、学生自ら主要なパーソナリティテストを実施し自己分析する。その結果を報告書形式にまとめることを通して、クライアントを理解し多職種で情報共有する方法を学ぶ。
また、将来的に実践に基づいた研究ができるよう、簡単な実験をグループで実施し、集計と記述統計をエクセルを用いて行い、それを基に基礎的な統計的検定の理論と方法を理解できるようにする。

授業の目的

ソーシャルワーカーは、クライアントの心理的理解に基づいた確な援助を行う必要がある。そのためのツールとして、心理アセスメントも位置付けられ、職場内外の多職種と連携し、その内容について遜色なく共有できることが望ましい。したがって、心理アセスメントの概要を知り、効力と限界を知ったうえで有効に利用できるようになることを目指す。
また、将来、社会福祉の現場における課題に際し、心理学が科学としてこれまでに蓄積してきた研究成果を参照することができるようになり、自らも課題解決に向けて研究をする意欲と能力を持ち得ようになるため、心理測定法の基礎的な理論と方法論を学ぶことを目的とする。

学習目標

- 1.心理アセスメントとは何か、その方法、効能、限界を説明することができる。
- 2.クライアントの特徴的なプロフィールが主要な心理テストにどのように反映されるか、おおよそ説明することができる。
- 3.初歩的な調査研究を計画することができ、エクセルを使って簡単なデータ集計、統計処理ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション 心理測定法の多面的な役割	講義	原口 彩子
2	心理アセスメントとは その必要性と限界	講義	原口 彩子
3	心理テストの種類と特性・心理テストの自己実施	講義・心理テスト実施	原口 彩子
4	テストバッテリーとは・心理テストの自己実施と解説	講義・心理テスト実施	原口 彩子
5	異常を示すプロフィールとは・心理テストの解説	講義	原口 彩子
6	報告書の書き方・心理テストの解説	講義	原口 彩子
7	実験実施と集計	グループ学習（パソコン持参）	原口 彩子
8	記述統計量の算出と基礎統計処理	講義・演習（パソコン持参）	原口 彩子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	心理測定法への招待	市川伸一（編著）	サイエンス社	2015年	2,700円+税	
参考書						
その他の資料	適宜心理学系論文のコピーを配布					

評価方法

- ・自己分析レポート 50%
- ・期末試験 50%

履修上の留意点

心理テストの実施と解説を各授業内で行うため、欠席が重なるとレポートの執筆が大変困難となるため注意されたい。
8回の講義のうち2回、自分のノートPCを持参していただく。
授業外で、インターネットでの心理テストの自己実施をしていただく場合がある（所要時間：30分）。

オフィスアワー・連絡先

原口研究室：E棟3階 E-311
オフィスアワー：毎週火曜日15時以降
連絡先：haraguchi@nuhw.ac.jp